

西宮市会報告

No.128
2023年
秋号

日本共産党

発行●日本共産党西宮市会議員団 西宮市六湛寺町10番3号(西宮市役所内)
Eメール:nmc30547@nishi.or.jp TEL:0798-35-3368 FAX:0798-22-7815 ホームページ:http://nishinomiya.jcp-giin.net/

庄本けんじ

●団長
●教育子ども常任委員会
副委員長

野口あけみ

●幹事長
●議会運営委員会
副委員長
●総務常任委員

三好さつき

●健康福祉常任委員会
副委員長
●広報委員

10月3日、2022年度決算審査を含む9月議会が閉会しました。党議員団からは野口、庄本両議員が一般質問に立ちました。また市民団体から「インボイス中止」と「健康保険

証存続」を願う請願がそれぞれ提出され、党議員団は紹介議員となり採択のため奮闘しましたが、賛成少数で否決となりました。

“インボイス中止” “保険証存続”請願

26対14で
否決に

「インボイス制度の中止・延期」を求める意見書を国に提出することを求める請願」が10月導入を前に、西宮民主商工会と西宮中小商工協会から提出されました。

これまで帳簿で可能であった「仕入れ税額控除」をインボイス(適格請求書)がなければ認めないとする同制度。インボイスを発行できるのは消費税課税業者のみで、全国の免税業者が課税業者への転換か、取引の辞退か、消費税分の値引きかの「悪魔の選択」を迫られるものです。

物価高騰の中、消費税の引き下げこそ必要な時に、増税を強制する同制度の導入に、全国で反対署名が54万筆集まり、200を超える地方議会で意見書が採択されています。

「健康保険証の存続」を求める意見書」提出を求める請願は、保険医協会西宮・芦屋支部から提出されました。マイナンバーカード取得は任意であるにもかかわらず、来年秋に現在の保険証を廃止して、マイナ保険証とするのは、カード取得を事実上強制するもの。今、個人情報の誤登録が大問題となり、マイナ保険証「反対・延期」の世論は7割超です。

両請願とも党議員団は紹介議員となり、奮闘しました

が、賛成は日本共産党(3人)、市民クラブ(6人)、無所属議員8人の内5人。他は反対で否決となりました。

両請願への態度

■賛成 □反対

市民クラブ				政新会			
野口	中尾	河崎	花岡	大川原	山田	澁谷	八木
庄本	よつや	一色	田中(あ)	松田	松山	大原	草加
三好	川村	村上	宮本	森	山口	しげひさ	田中(正)
佐野	松本	牧	おくの	会派・ぜんしん			
共産党				公明党			
無所属				日本維新の会・西宮市議団			
				無所属			
				江良			
				多田			
				浜口			
				渡辺			
				ありめ			
				今泉			
				前島			
				前田			

前年度決算「実質赤字」 市民サービス低下は許さない

2022年度一般会計実質収支額は約4億円と大きく減少。しかも基金(貯金)を21億円取り崩した上ですから、実質は赤字です。当局からは赤字基調の財務体質改善のため、今後、内部経費や人件費の削減、既存事業の見直し、場合によっては行財政改善計画の策定・実施なども必要との言明がありました。

確かに財政状況は決して楽観視できるものではありませんが、国からの交付金等を適正に確保することや、市で今後予定されている阪神西宮駅北側整備など、投資的事業の再検討が必要です。

今、市民は物価高騰のただ中で苦しんでいます。党議員団は、市民サービスを絶対に低下させず、さらに切実な市民要望を実現することを求めました。



新年度予算要望書 市長に提出



8月30日、党議員団と党西宮芦屋地区委員会は、2024年度予算編成に対する要望書を市長に提出し、市長、副市長らと懇談しました。

要望は市政全般にわたって307項目にのぼりますが、9月議会ではこれらの実現めざして決算審査に臨みました。

来年2月には全項目に対して当局からの回答が寄せられる予定です。



JR甲子園口駅北側の整備を

野口あけみ

野口あけみ議員はJR甲子園口駅北側整備について質問。同駅前には、歩行者、自転車、車が錯綜し危険な場所で、何より駅東の老朽建物が著しく景観を損なっています。野口議員はこれまで3回、議会一般質問で同駅前整備を求めてきましたが、市は必要性を認め整備計画を検討したものの、費用の点などから実質断念していました。

今年4月、この老朽建物の最後の1店が廃業、いよいよこのままではだめと、8月、周辺の2連合町内会、9町町内会会長が連名で市長に要望書を提出。要望書では「駅前にふさわしい景観を」と、老朽建物の危険の排除や、周辺整備を求めています。野口議員は周辺土地を買い取り又は借り上げて住民の求める整備を、と追求。市は、現時点では計画がないままでの土地取得等は難しいが、安全や景観に資する実施可能な対策について検討していきたい、と答弁しました。



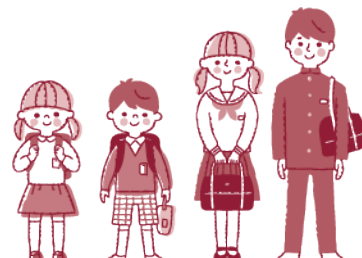
子どもの権利条約

実現する取り組みを西宮でも

庄本けんじ

庄本けんじ議員は子どもの権利について質問。日本の子どもの権利状況は、たいへん深刻です。不登校になっても安心して過ごす場がない。様々なことで追い詰められ、自殺してしまうなど、小さな心が痛めつけられています。ところが、日本の取り組みは、国連の勧告にあるように、ずいぶん遅れています。

対策の遅れを取り戻すためには、国連が採択した子どもの権利条約を対策の軸に置く必要があります。まずは、深刻な子どもの状況を正確に把握するとともに、子どもの権利条約を広く市民に周知徹底すること、その具体化として、例えば学校で児童生徒たちに、子どもの権利条約を解説した冊子(60円)を配布することを求めました。当局は、「条約の周知に特化した取り組みの予定はない」との答弁を繰り返しました。



誰もがいきいき暮らせる市に

高齢者外出支援拡充を!



地域の高齢者の方々から、「以前の交通助成にもどしてほしい」といった声をよく聞きます。

今ある西宮市の事業は2つ。一つは高齢者福祉タクシー利用です。対象は介護度3以上で施設利用されていない方で、昨年度の対象4635人のうち、利用率は25.5%でした。もう一つはバス運賃助成利用。70歳以上の方が対象で、利用登録された方のうち、半数しか利用されていないこともわかりました。登録者も限られ、「バス路線が縮小

された」「バス停が閉鎖された」など利用したくても利用できない方にとっては、中身のない事業です。高齢者の外出支援というなら、タクシーや鉄道利用も含めた事業が必要ではないでしょうか。

高齢者が積極的に外出することは、身体・精神面でよい効果をもたらし、医療や介護費などのコスト削減、地域活性化や消費拡大などの効果も期待されます。市は今後、アンケートを実施すること。ぜひ、広く市民の声を聴き、事業が拡大することを求めます。



三好さつき

介護保険 来春改訂

2024年春に医療保険と同時に介護保険の診療報酬改定が予定されています。

西宮市の介護保険料については、第8期は据え置きとなっていました。2024年度からの第9期においては、引き上げが予想されます。介護サービスを受けた時の利用料

は原則1割負担ですが、2割負担への拡大や、これまで利用者負担が「ゼロ」だったケアプラン料の有料化など利用者負担増や給付削減が心配です。

高齢者や現役世代にも痛みを押し付けるものであり、介護難民を生まず、市民のみなさんが安心して介護を受けることができるよう今後も注視し、改悪反対の声を広げていきます。

学校給食無償化署名にご協力ください

学校給食の無償化を実施する自治体がどんどん広がっています。西宮では、物価高騰対策として、今年の3月までの半年間ではありましたが、実施しました。「ぜひ復活を」の声を広げるため、「学校給食費無償化を進める会」が署名を呼びかけています。

